

# ましまの風

発行 者 杵藤農林事務所杵島農業改良普及センター

佐賀県杵島郡白石町大字東郷2546-2

TEL0952-84-3625 FAX0952-84-6425

E-mail : kitounourin@pref.saga.lg.jp

URL : http://www.pref.saga.lg.jp/list02464.html

平成29年6月

第45号

## 21世紀の主役たち

武雄市北方町  
江口竜左さん (29歳)

### 経営面積

米 430a、麦 430a、大豆 150a  
キュウリ 24a、ニンニク 30a  
パクチー 200a、エコキャロット 30a



野菜いきいき、  
人いきいき

武雄市北方町の江口竜左さんは、今年で就農9年目になります。

施設キュウリを中心に多品目を栽培されています。平成24年からは武雄市のブランド野菜としてパクチーを栽培されており、首都圏でも高い評価を受け地域の活性化に貢献されています。

地元愛の強い江口さんは高齢農家等が栽培された野菜を引き受け、出荷の支援をされています。また障がい者の方の社会進出支援として就労継続支援B型事業所「野菜」を開設され、積極的に自らの経営でも雇用をされています。

また就農後は4Hクラブに入会され、積極的にクラブ活動に参加されています。クラブ員からの信頼も厚く、今年度は「TK4HアグリマネージメントCLUB」の副会長を務められています。

昨年度行われた全国青年農業者会議では九州代表として「野菜」との連携によるパクチーの特産化、耕作放棄地の解消の取り組み」について発表され、プロジェクト発表では佐賀県初となる栄えある農林水産大臣賞を受賞されました。この功績にクラブ員の士気も高まっています。

今後の目標は「消費者ニーズをとらえた野菜づくり」ということでSNSをはじめ、様々なメディアを活用して消費者に情報発信をされています。

地域の若手リーダーとして江口さんのこれからの更なるご活躍を期待しています！







# 普及指導活動の一端を紹介します



## 新規就農者や青年農業者を支援しています

杵島普及センター管内では、過去5年間で230名を超える新規就農者があり、その約7割が45歳以下の青年農業者です。近年の青年農業者は、普通高校や農業系以外の大学に進学し、他産業に従事した後Uターン就農する事例も多く、農家出身であっても農業に関する基礎知識を得る機会がないまま就農している人が多くなっています。

また、管内では「しろいし農業塾」や「トレーニングファーム事業」など、県外や県外からの就農希望者への研修事業も実施されています。

そこで、普及センターでは、このような新規就農者等を対象に、農業の基礎的な技術知識や経営の考え方を修得し、早期に一人前の農業経営者となり、地域農業の核となる人材を育成するため25年度から「育成塾」を開催しています。

講座は、基礎講座と選択制の専門講座の2コースで、今年は7月から行う予定です。

※お問い合わせは、普及センター  
経営担当まで。



育成塾の様子

## タマネギの安定生産に向けて

武雄・杵島地区のタマネギの29年産の作付面積は約1,080haで、管内でも重要品目となっています。普及センターとしても、これまで機械化体系の支援等を行ってきましたが、近年は収穫期の葉枯れ等により生産が不安定となっています。

そこで、平成28年度は重点活動としてJA等と連携し、優良事例調査や土壌調査を行い、近年の生育不良の要因解明に取り組みました。調査の結果、土壌条件等に要因があることが示唆されたため、昨年度は根張りを意識した畝づくりをよびかけました。

また、べと病の被害も拡大していることから、農業試験研究センター白石分場の成果に基づき、越年罹病株の発生抑制のための展示圃を設置しました。(写真2)その結果、良好な結果が得られています。

今後もタマネギの安定生産と産地の発展に向けて、関係機関と連携し取り組んでいきます。



写真1 タマネギ土壌調査の様子 (5月23日)



写真2 収穫前の様子 (5月25日)



# H28年度普及トピックス

## WCS専用品種の紹介

管内でも飼料用稲（WCS）の作付・利用が定着してきているなか、普及センターでは専用品種「たちあやか」の展示圃場を設置して収量などの調査を行いました。結果、収穫量は主食用の品種に比べて約2倍となり、肉用牛の繁殖雌牛や搾乳牛への嗜好性も非常に高いことが分かりました。「たちあやか」は籾が少なく茎葉中の糖含量が多いため、飼料用稲として広く普及が望まれます。

WCSは高級ブランド牛「佐賀牛」の素となる重要な「エサ」です。畜産農家の皆様には更なる有効利用で経営の安定を図ると共に、耕種農家の皆様には栽培管理を徹底して高品質な「エサ」作りをお願いします。



WCSの展示圃場

## アスパラガス増収への取組

アスパラガスは、全国的にも評価の高い佐賀を代表する農産物の一つです。近年、管内の武雄地区では新規の栽培者が増えており、新規者の反収向上に向けた支援活動に取り組んでいます。活動の中では、効率的な灌水方法の導入のために試験をおこなったり、夏場のムレや病害虫の発生の原因として問題となっている、茎葉の過繁茂の改善に取り組んでいます。具体的には、新たな技術として、光の透過率を指標として茎葉の茂り具合を把握し、適正な茎葉管理につなげる取り組みをおこなっています。



アスパラガス茎葉の茂り具合を調査

## ホオズキの栽培者、募集中心!

お盆の時期に欠かせないホオズキの栽培は、実つきをよくするために施肥量、栽植密度、日照条件等に気を配る必要があります。近年、県内のホオズキ産地では農試育成品種「佐賀H5号」の栽培が増えています。「佐賀H5号」は、とにかく実がつきやすい品種なので、施肥量や栽植密度をあまり気にしなくてよい栽培しやすい品種です。

栽培に興味のある方は、普及センターまでご連絡ください!





# 地域情報コーナー

## 4Hクラブ員

## 募集!!

### 「白石青年実業会」

県内最大のクラブ員が在籍し農業経営の研鑽を図ることを目的に活動を展開しています。今年には高品質な農産物を生産するための基本となる「土づくり」について県外の先進地を視察する計画もあり、若い力で白石地域の農業を一層元気にしていきます。

### 「江北町農業新経営者クラブ」

地域の耕作放棄地を解消するために、29年3月より圃場整備を開始し、5月にはトウモロコシ（ゴールドラッシュ）の移植作業を行いました。収穫期には収穫体験や、ふるさと納税の返礼品としての活用が検討されています。地域を担う存在として今後の活躍が期待されます。

### 「武友会」

野菜や畜産、花き、果樹などバラエティに富んだ武雄市の若手農家8名で活動を行っています。保育園児達との野菜づくり体験や餅つき大会を通じた食育活動や自慢の農産物での直売会で消費者との交流活動、自己研鑽のための先進地視察研修などを行っています。

武雄市内で農業を頑張っている若手のみなさん、一緒に交流を深めませんか？



保育園野菜作り



トウモロコシの播種



小学生との蓮根収穫体験

## 佐賀県農業大学校学生募集!!

### 平成30年度佐賀県農業大学校

学生募集【定員50名】

農産・野菜・花き・果樹・畜産

推薦入試試験日 平成29年11月2日(木)

一般入学試験日 平成30年2月2日(金)

◎詳しくは、佐賀県農業大学校 0952-45-2144 まで

## 平成29年度杵藤農林事務所杵島農業改良普及センターの職員紹介

平成二十九年四月一日付人事異動により新体制となりました。今年もよろしくお願ひします。



### お世話になりました

- ◆進藤 幸広 (藤津農業改良普及センターへ)
- ◆徳永 敦子 (農業大学校へ)
- ◆田浦 孝 (東松浦農業改良普及センターへ)
- ◆本村 祐美 (三神農業改良普及センターへ)

